



シンフォニア通信 第32号



東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホームシンフォニア

～ごあいさつ～

今年も師走を迎え、風景も急速に冬の装いになってきました。既に日本海側では1メートルを超える積雪があったことが伝えられるなど、例年以上の寒さが予想されていますが、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

シンフォニアも開設3年目の今年は、例年にも増してボランティアの皆様を始め多くの方々のお力を得て、利用者様の生活に潤いや豊かさが感じられる施設運営に取り組んでまいりましたが、期待に応えられるような結果も出せるようになってきたと自負しているところです。

先日も今年の行事を締めくくるクリスマスディナーを実施しましたが、多くのご来賓の参加を得、安田様、蓼沼様によるバイオリンとピアノの二重奏で楽しいひと時を過ごすことができました。これも一重に日頃の施設運営に対する深いご理解とご協力があって成り立つことと心より感謝しております。

振り返ってみますと、今年も広島の土砂災害や御嶽山の噴火災害で多くの犠牲者を出すなど、心の痛む災害が発生してしまいましたが、一方ノーベル物理学賞を3名の日本人が受賞する喜ばしいニュースなどにも触れ、日本人とし改めて誇りに感じるとともに、建てた目標に地道に挑戦していく大切さを痛感したところです。

今後の当施設の運営にあっても、厳しい環境にはありますが掲げた目標に向かって、職員ともども精いっぱい努力していきたいと考えております。

そのためには、過日受けた福祉サービス第三者評価の結果はもとより、多くの方のご意見を賜り、これを施設運営に生かしていくことが重要であると考えております。

2015年の干支は羊です。群をなす羊は家族の安泰を意味しているといわれますが、シンフォニアが社会福祉法人「大家族」の一員として、理事長夫妻の施設運営の理念を体現していく充実した1年となることを願い、またご利用者、ご家族様が益々ご健勝ですばらしい年を迎えられますことをご祈念申し上げ、今年の結びの通信とさせていただきます。

社会福祉法人 大家族
特別養護老人ホーム シンフォニア
施設長 檜村正男

～イベント紹介～



平成 26 年 12 月 7 日 (日)
クリスマスディナー



↑ 来賓の方々が着席し、和やかな雰囲気の中クリスマスディナーはスタート！



↑ 安田さん (バイオリン)、夢沼さん (ピアノ) による素晴らしい演奏に皆様聞き入っていました。

クリスマスディナーのメニュー

- * プチおむらいず
- * 森のはんばあぐ
- * ハニーマスタードちきん
- * ジャーマンぽととキッシュ
- * かぶのミルクすうぷ
- * クリスマスもんぶらんツリー
- * シャンメリー
- * 紅茶



クリスマスディナー後半は職員による合唱を披露。女性職員は「ジングルベル」、男性職員は「第九」を利用者様も一緒に歌いました。今年も利用者様の心に残るような素敵なクリスマスディナーとなったのではないのでしょうか。

